

浜研通信



第10号

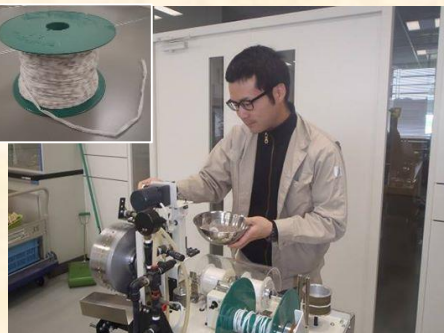
平成26年10月

浜地域研究所の近況をお知らせします

浜通りは秋～春先にかけて比較的温暖で日照に恵まれています。これらの長所を活かした浜通り農業の推進に向け、日々研究を進めています。



麦



浜地域研究所の業務のひとつに作柄解析試験があります。これは、毎年、同一条件で水稲、大豆、麦を栽培し、その年の作柄を正確に解析する試験です。写真は、麦の播種に使用するシードテープを作成しているところです。種子が等間隔で入っているこのテープを使うことにより、均一に播種することができます。



カンパニュラ

冬期間の好適な気象条件を活かした試験を行っています。写真はカンパニュラの定植風景です。10月に苗を定植し、冬期間は無加温ハウス（保温資材を利用）で、夜2時間電照することにより、2月下旬から3月に開花します。

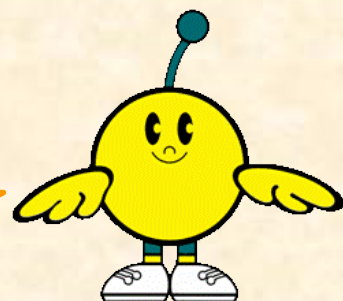


収穫作業、冬作の準備に励んでいます。

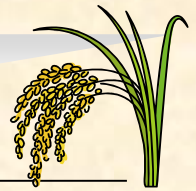
ブロッコリー



ブロッコリーやキャベツで、本畑での肥料分を育苗培土中に施肥する“セル内施肥”という技術の検討を行っています。この技術により肥料量の削減を目指しています。今年もよいブロッコリーが収穫できました。



研究内容のご紹介



いもち病検定試験

いもち病は稲の重要な病害です。葉や穂にいもち病が発生すると収量や品質の低下を招くことから、いもち病に強い水稲品種を育成することが重要な育種目標になっています。浜地域研究所では、福島県内外の研究機関で新たに育成された水稲品種・系統のいもち病検定試験を行っています。本年は延べ159品種・系統について検定を行いました。写真は、穂いもちの発病程度を調査しているところです。一穂ずつ調査する大変根気のいる仕事ですが、重要な試験です。



作物の生育状況

<水稲の作況試験>

5月9日に移植した「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」の出穂期は、6月からの高温多照により平年に比べ4日早まりましたが、8月下旬以降低温が続いたため、成熟期は「ひとめぼれ」で平年に比べ2日早い9月10日、「コシヒカリ」で1日早い9月24日でした。また、「天のつぶ」の出穂期は8月1日、成熟期は9月18日でした。

<大豆の作況試験>

6月17日播種（標播）のタチナガハは、8月中旬以降の登熟期に乾燥傾向で推移したため、成熟期が平年に比べ9日早まりました。稔実莢数が平年に比べ少なく、また粒径も小さいため平年より収量は少なくなる見込みです。晩播、極晩播も成熟期は平年に比べ早まる見込みです。汚損粒の発生を防ぐため、収穫時期を逸さないようご注意ください。

facebook更新中



浜地域研究所のfacebookページをはじめました。日々の作業風景など浜地域研究所の活動を毎日ご紹介しております。ぜひアクセスいただき、ご覧ください。



QRコード、URLです。
ホームページからもアクセスできます。

<https://www.facebook.com/nogyocentre.hama>

浜地域研究所facebookページ



編集・発行 福島県農業総合センター浜地域研究所

浜地域研究所

検索

〒979-2542 相馬市成田字五郎右エ門橋100 TEL (0244)35-2633 FAX (0244)35-0319